

あいづわかまつ

ちいきふくし



新型コロナウイルス感染症の収束は見通せない状況にありますが、介護予防や健康増進のために、感染予防を図りながら、様々な活動を行っている人たちがいます。今回の「ちいきふくし」では、そのような人たちを紹介します。

青空介護予防教室（若松第1地域包括支援センター）

若松第1地域包括支援センターでは、コロナ禍においても実施できる介護予防として、「青空介護予防教室」に取り組んでいます。

青空介護教室とは、町内の空き地、企業や店舗の駐車場、神社などの屋外で実施する健康教室です。そのため、天気予報とにらめっこしながら、開催の1週間前からお知らせをします。急な募集にかかわらず、20人程度の人が集まるところもあります。



七面講の皆さん。地域の誇りとつながりを大切にしています。



写真は、東山地区の院内町内会の七面神社で行われた様子です。8月の祭礼の後に実施しました。

七面神社は、院内の人々を守るために江戸時代に建てられたものです。神社の場所が御廟と湯川を挟んで対面と、住宅地から離れており、祭礼をなかなかできずにいましたが、4世代目の七面講のメンバーが復活させました。

実施したい団体（行仁小、鶴城小、東山小学校区に限る）は、若松第1地域包括支援センターまでご相談ください。

◎問い合わせ……若松第1地域包括支援センター
(☎39-6770)

ばっちゃんのつどい（住吉町内会）

住吉町町内会では、前に町内会館として使われていた建物を改修し、「ふれあい館」として様々な活動に利用しています。「ばっちゃんのつどい」もその一つで、毎月開催しています。

「ばっちゃんのつどい」は、葛岡さんが、区長から「ふれあい館をつくったので、使ってみさせ」と言われたのがきっかけで始めました。

主催する葛岡さんは91歳で、参加者の平均年齢も88歳ですが、毎回会津に関する歌を大きな声で歌うのでみんな元気です。



手品で新聞紙から咲かせた花を持って記念撮影

楽しい情報を教えてください

「うちの地域福祉活動は他の地区に負けない!」、「うちの活動はみんな笑顔だよ」、「こんな問題があったけどみんなで解決したよ」、「うちの施設では町内会等と連携してこんなことをやってるよ」など「ちいきふくし」に載せたい情報がありましたら、地域福祉課や高齢福祉課にご連絡ください。

参加者の皆さんからの「みんなが集まり話すのが楽しい」、「家族にサロンの話をするので、家族との会話が増えた」、「葛岡さんがいろいろな遊びを提案してくれて来るのが楽しみ」の声を聞き、葛岡さんは「サロン会といった堅苦しい感じでなく、ただ、みんなが集う場所になればいい」と笑って話してくれました。

【実施状況】 毎月第1土曜日



毎回、会津に関する歌を歌います
写真は、手話をしながら歌う様子

地域福祉フォーラムを開催します

あいづわかまつ地域福祉を考えるフォーラムを11月2日に會津稽古堂で開催します。

今年のフォーラムは、白河市でこども食堂「たべまな」や、セーフティシェアハウス「森のたべまな」を運営するKAKEKOCOMI代表の鴻巣麻里香さんを講師に、「誰も置き去りにしない地域に向けて」をテーマに講演します。

詳しい内容や申し込みは、市のホームページ、市政だより10月1日号をご覧ください。

